



みんな満足



～相手満足の先にある景色をめざして～

H31.1.10
NO.42

第1回前中レク 優勝 3-2 百人一首大会 優勝 3-1

個人3位 牧半みなみ

毎年恒例の百人一首大会が1月7日になりました。執行部から「今年で41年目」という言葉がありました。みんなの方で「私もやった」という人がいるのではないか。

3年生ともなるとさすがに何首かは覚えているようで、上の句を聞いてそれを取っている人も見られました。



冬休み中にたくさん覚えてきた人は、上の句を聞いただけでとることができたね。

今後の予定

日曜	主な学校行事
11 金	※私立・専修推薦願書提出〆切
12 土	
13 日	
14 月	成人の日
15 火	月曜授業 ①数学単元末テスト(円の性質)
16 水	※私立・専修一般願書提出〆切
17 木	3年学年末テスト (①国②理③英) 13:00頃下校
18 金	3年学年末テスト (①数②社) 進路希望調査配布 公立推薦願配付(希望者)-----
19 土	
20 日	
21 月	朝会 学年末テスト返却
22 火	※進路希望調査提出〆切 ←-----
23 水	もくもく清掃
24 木	A時間 ⑥委員会

当日はテレビ局の取材もあり、夕方のニュースに出でた人もいましたね。大きくアップで流れていっただけでは、次にみんながこの光景を目にするのは、2~30年後、親になれたときかな?!

実テの結果を渡しました

みんなが「前回の実力テストより伸びた!」と言えるとよかったです。しかし、残念ながらそうはなりませんでした。どちらかというと上向きと下向きで2極化したように思います。10月から冬休みにかけての取り組み方の差、特に冬休み2週間は大きかったのかな、と感じました。

結果を必ず家の人々に見せましょう。そして、進路決定にいきすとともに、さらに学習への取り組みを強化

三者面談で
提出

していきましょう。



時代が変わ る時なのかなあ

8日のニュースで「レスリングの吉田選手引退、

と報じられました。サッカーの植崎、中澤という代表経験者も引退するようです。将棋の羽生さんが無冠になりました。そこに藤井七段が現れ、今度は囲碁の天才少女出でます。平成がもうすぐ終ります。時代が変わる時なのですかね。

囲碁の天才少女、10歳で最年少プロに名人も手腕評価

今春、日本囲碁界で史上最年少の10歳のプロ棋士が誕生する。大阪市此花区の小学4年生、仲邑董(なかむらすみれ)さん(9)で、囲碁先進国韓国で修業を積み、「世界一になる逸材」として、日本棋院が新設した小学生までの採用制度「英才特別推薦棋士」の第1号として迎えられる。

日本棋院が5日に発表した。董さんは、4月1日付、10歳0ヶ月で日本棋院関西総本部(大阪市)の所属棋士になる。9年前、11歳6ヶ月でプロ入りした藤沢里菜女流本因坊(20)を抜く最年少記録となる。

